



大 船 山

ホームページアドレス https://www.city.ena.lg.jp/enaschoolnetwork/e/kamayahagi_1/index.html

第 4 号

令和8年6月26日

豊かな体験の陰には

校長 高橋 かおり

今年度も、5月6月は千客万来の上矢作小学校でした。野菜の苗植え、大豆の種植えと植え替え、読み聞かせ、アマゴとアユの放流、太鼓、草取り、給食試食会、ドローン教室、防災教室……。今後も親子学習会や418花壇の活動があります。他にも、研究授業や教育長訪問など他校の先生や教育委員会からのお客様もいらっしゃいました。また、修学旅行をはじめ、地域めぐり、まち探検、粘土教室のように、校外へ出て学ぶ機会も多くありました。

どの学習も、子ども達なりに準備をして迎え、真剣な表情で取り組んでいました。6年生は修学旅行中に、マナーのよさや見通しをもって行動する姿を、見ず知らずの方に褒めていただいたそうです。何事にも、前向きに楽しんで取り組めるところは、上矢作っ子のよさの一つだと思います。しかし、充実した活動は子ども達の頑張りだけではつくれません。大豆の種を蒔いた後、植え替えまで何度も様子を見に来てくださったり、私達の知らないうちに畑の草を刈ってくださったり、たった10分の読み聞かせのために練習をしてくださったり、昨年度の振り返りを生かして方法を工夫してくださったり、学校の水槽では飼育しきれないアマゴを引き取って育ててくださったりと、見えないところでたくさんの準備をしてくださっています。また、活動の当日は、まず子ども達にさせてみて、難しいところをさりげなくサポートし、できた姿をたくさんほめてくださいます。どの活動も、「元気な挨拶やね」「それで、いいぞ!」「上手い、上手い」「手伝ってくれてありがとう」「いい具合にできたなあ」等の言葉を、子ども達にたくさんかけてくださいます。子ども達と、学校を支えてくださる方々、双方の努力によって豊かな体験学習が成り立っていることを改めて実感します。



6年生修学旅行（二条城にて）

体験学習の様子から……

低学年が「道の駅」にまち探検に行ったときの事です。一般のお客様に挨拶をしたところ、「元気だね。今日は何をしに来たの?」と、笑顔で声をかけられたそうです。学校の中では当たり前前の挨拶。でも、校外に出ると少しドキドキします。思い切って声をかけたら相手も笑顔になりました。挨拶は人を笑顔にし、心と心をつなぐ。スピーチ集会で6年生の子が話していた通りですね。



低学年まち探検（道の駅にて）

中学年粘土教室



中学年の粘土教室。活動後にみんなで協力して片付けと掃除をしました。すると粘土教室の先生が「初めよりきれいになったかも」とつぶやかれました。掃除をしっかりとするのも学校では当たり前のこと。片付けを自分達でするのも当たり前のこと。だって、高学年が集会後の片付けをしているのをいつも見ていますから。当たり前のことをしたら、教室の先生も自分達もよい気持ちになりました。